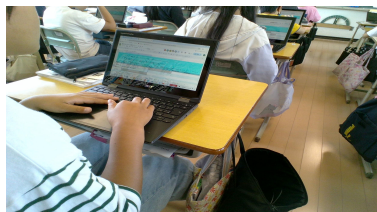


(6)年()先生 教科(社会)

日時(6月5日2H) 単元名(縄文のむらから古墳のくにへ)



一斉授業ではないので、教室をぐるぐる回りながら、いろんな子どもに語りかけ、学びの確認やフォローを行っていました。いろんな声が聞こえてくる教室、子どもたちにとっては、質問しやすい環境なんだな～と感じました。自然と協働的な学びが生まれています。「ただ仲がいい。」ではなく、「問いが同じだから！」や「学びが深まりそうだから！」など、意図的なグループになっているところにも成長を感じました。

授業の冒頭、先生は学び方について丁寧に子どもたちに語りかけていました。特に、集めた情報を関連付けて考えることについては時間を割いていました。参観していた府教委の方々は、6年生のタイピングの速さに驚かれています。キーボー島などのタイピング練習の成果だと思います。また、今年度も隙間時間等に練習をお願いします。

最後に府教委の方から「端末を活用して、子どもたちにどんな力がついたのかを発信してほしい！」と依頼されました。また、教職員が一丸となって研究を深めていきましょう。

